

まちづくりの目標 1  
健やかにいきいきと暮らせるまち

重点的・戦略的に推進する事業

	【 重点取組事業名 】	【 担当課 】	【 ページ 】
1-①	妊娠期からの子育て世代包括支援事業（新規）	保健センター	16
1-②	こども未来館整備事業	子育て支援課こども未来館整備室	17
1-③	こども未来館等開館記念事業（新規）	政策課男女共同参画推進室 人権啓発課 子育て支援課こども未来館整備室	18
1-④	私立保育所・幼稚園等施設整備補助事業	こども園運営課	19
1-⑤	公立保育所・幼稚園等施設整備事業	こども園運営課	20
1-⑥	保育所・幼稚園等への芸術士派遣事業	こども園運営課	21
1-⑦	子育て世代親元近居等支援事業（新規）	子育て支援課	22
1-⑧	多子世帯保育料等減免事業（新規重点）	こども園運営課	23
1-⑨	放課後児童クラブ事業	子育て支援課	24
1-⑩	放課後子ども教室事業	子育て支援課	25
1-⑪	ファミリー・サポート・センター事業	子育て支援課こども未来館整備室	26
1-⑫	ユニバーサルデザイン推進事業	政策課ユニバーサルデザイン推進室	27
1-⑬	在宅医療・介護連携推進事業	長寿福祉課地域包括ケア推進室	28
1-⑭	生活支援・介護予防サービス提供体制構築事業	長寿福祉課地域包括ケア推進室	29
1-⑮	高齢者居場所づくり事業	長寿福祉課	30
1-⑯	高齢者見守り事業	長寿福祉課	31
1-⑰	介護相談員派遣等事業	介護保険課	32
1-⑱	認知症ケア推進事業	地域包括支援センター	33
1-⑲	地域ケア会議推進事業	地域包括支援センター	34
1-⑳	障がい者就労支援促進事業	障がい福祉課	35
1-㉑	障がい者地域生活支援拠点等整備事業	障がい福祉課	36
1-㉒	障がい者アートリンク事業	障がい福祉課	37
1-㉓	自殺対策推進事業	保健センター	38
1-㉔	がん対策推進事業	保健センター	39
1-㉕	新病院（附属医療施設を含む）整備事業	新病院整備課	40

1-①  
【特別重点】

妊娠期からの子育て世代包括支援事業（新規）

保健センター

事業費（計画額）

2,801万円

概要

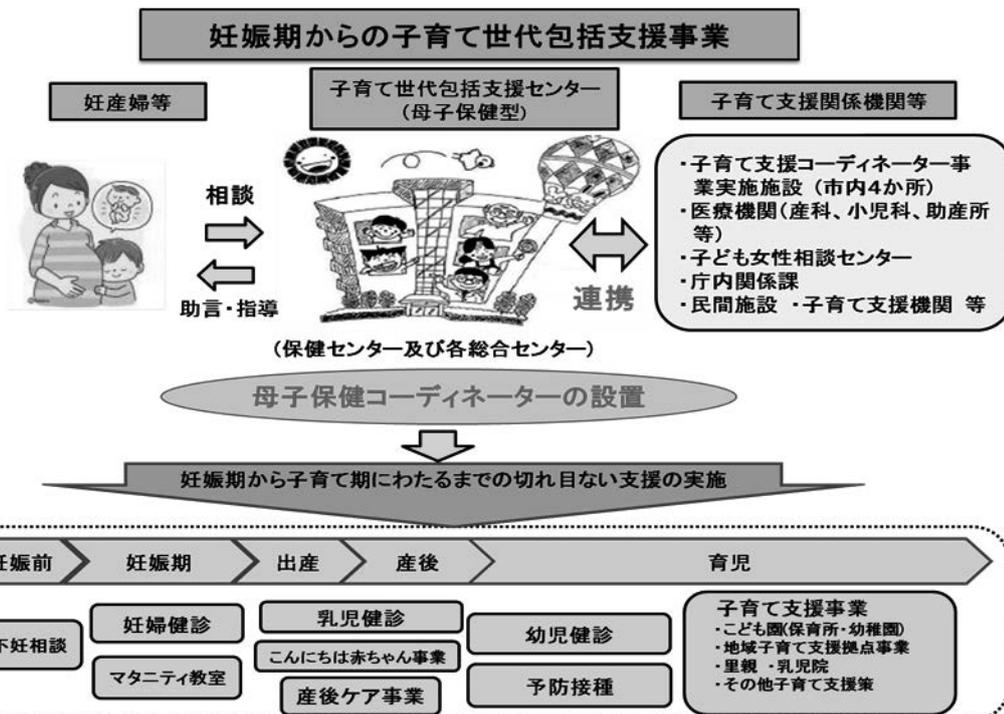
子育て期にある若い世代が安心して妊娠、出産、子育てができる環境の実現に向け、妊娠期から子育て期にわたる様々なニーズに対応するため、総合的相談支援を提供するワンストップ拠点（子育て世代包括支援センター（仮称））を整備し、母子保健コーディネーターを配置するなど、妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援に取り組みます。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
子育て世代包括支援センター（仮称）の設置 母子保健コーディネーター配置 （4月から1人、1月から4人追加） 産後ケア事業の実施	子育て世代包括支援センター（仮称）の設置 母子保健コーディネーター配置 産後ケア事業の実施	継続実施

目標

目標項目	現況値（H27.4）	目標値（H30）
把握しているハイリスク妊婦のうち支援につながった割合	40.3%	90%



**1-②**

**こども未来館整備事業**

子育て支援課こども未来館整備室

事業費（計画額）

17億5,133万円

概要

未来を担うすべての子どもたちが、限らない夢と想像力を持ち、健やかに成長していくために、成長段階にあわせて、子育て支援や学び、遊び、交流などの機能を持ち、子どもを主体とした、子どものための施策、事業を実施し、子どもを中心として幅広い世代の人々が交流できる施設として、こども未来館を整備します。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
建築工事 展示等の製作 プラネタリウム機器製作・設置 開館		

目標

目標項目	現況値（H27.4）	目標値（H30）
こども未来館整備進捗率（平成28年度 整備完了予定）	68.1%	<b>100% (H28)</b>

※施設整備事業は、全工程中、基本設計完了で20%、実施設計完了で30%  
その後の工事工程については事業費で進捗率を管理



こども未来館完成イメージ

1-③ こども未来館等開館記念事業（新規）

政策課男女共同参画推進室

人権啓発課

子育て支援課こども未来館整備室

事業費（計画額）

740万円

概要

こども未来館、男女共同参画センター、平和記念館及び夢みらい図書館の開館を記念して、幅広い世代の市民の来館を促し、施設全体のにぎわいを創出するため、開館記念事業を実施します。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
開館セレモニー・記念講演会の開催 （こども未来館） 開館記念事業の実施（男女共同参画センター） 開館記念展の開催（平和記念館）		

目標

目標項目	現況値（H27.4）	目標値（H30）
開館記念事業参加者数	—	14,300人 （H28）



こども未来館子育て支援ゾーンのイメージ

**1-④**  
【特別重点】

**私立保育所・幼稚園等施設整備補助事業**

こども園運営課

事業費（計画額）

24億3,730万円

概要

保育環境の改善、保育施設の保持等を図るため、私立保育所等が実施する創設や改築、大規模修繕等の施設整備に対して支援を行います。

また、子ども・子育て支援新制度における、幼保連携型認定こども園に移行するため、私立幼稚園等が実施する増改築等の施設整備に対して支援を行います。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
認定こども園への移行に対する助成（4施設）	保育所等の創設及び増築等に対する助成（8施設）	保育所の大規模修繕等に対する助成（6施設）
保育所等の創設及び増築等に対する助成（2施設）	保育所の大規模修繕等に対する助成（6施設）	
保育所の大規模修繕等に対する助成（2施設）		

目標

目標項目	現況値（H27.4）	目標値（H30）
① 待機児童数	① 129人	① 0人
② 大規模修繕実施施設対象児童数	② 128人	② 900人



新しく整備された私立保育所

**1-⑤**  
【特別重点】

**公立保育所・幼稚園等施設整備事業**

こども園運営課

事業費（計画額）

28億3,740万円

概要

施設の老朽化の状況を踏まえるとともに、幼保連携型認定こども園への移行を促進するため、公立保育所・幼稚園等の施設整備を計画的に実施します。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
大規模改修工事（3施設） 大規模改修実施設計（1施設） 保育所・幼稚園修繕工事等 大野地区統合保育所整備工事等 新川東保育所改築工事等 幼保一体化用地取得等（川島保・山田幼） 幼保一体化設計業務（林幼保、川島保・山田幼）	大規模改修工事（1施設） 大規模改修実施設計（1施設） 保育所・幼稚園修繕工事等 幼保一体化用地取得等（屋島保・檀浦幼、弦打幼保） 幼保一体化設計業務（川島保・山田幼） 幼保一体化工事等（林幼保、川島保・山田幼）	大規模改修工事（1施設） 大規模改修実施設計（1施設） 保育所・幼稚園修繕工事等 幼保一体化設計業務（香西幼保、弦打幼保） 幼保一体化工事等（林幼保、屋島保・檀浦幼、川島保・山田幼、弦打幼保）

目標

目標項目	現況値（H27.4）	目標値（H30）
① 認定こども園対象児童数	① 912人	① <b>1,150人</b>
② 大規模修繕実施施設対象児童数	② 488人	② <b>1,100人</b>



改築した浅野保育所

施策名：（111）子どもの成長への支援

1 - ⑥

保育所・幼稚園等への芸術士派遣事業

こども園運営課

事業費（計画額）

1億1,425万円

概要

子どもの創造性を育む指導や援助の在り方についての取組を進めるため、絵画や造形などの専門家である芸術士を保育所・幼稚園等へ派遣し、それぞれの芸術分野をいかしながら、子どもが持っている感性や創造力を伸ばしていけるように導く事業を実施します。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
保育所、幼稚園等への派遣（派遣先施設40か所） 芸術士・保育士等懇談会の実施（3回） 活動報告展の開催	継続実施	継続実施

目標

目標項目	現況値（H27.4）	目標値（H30）
芸術士派遣事業実施施設の満足度	97%	100%



芸術士派遣事業活動報告展

1-⑦  
【特別重点】

子育て世代親元近居等支援事業（新規）

子育て支援課

事業費（計画額）

3,000万円

概要

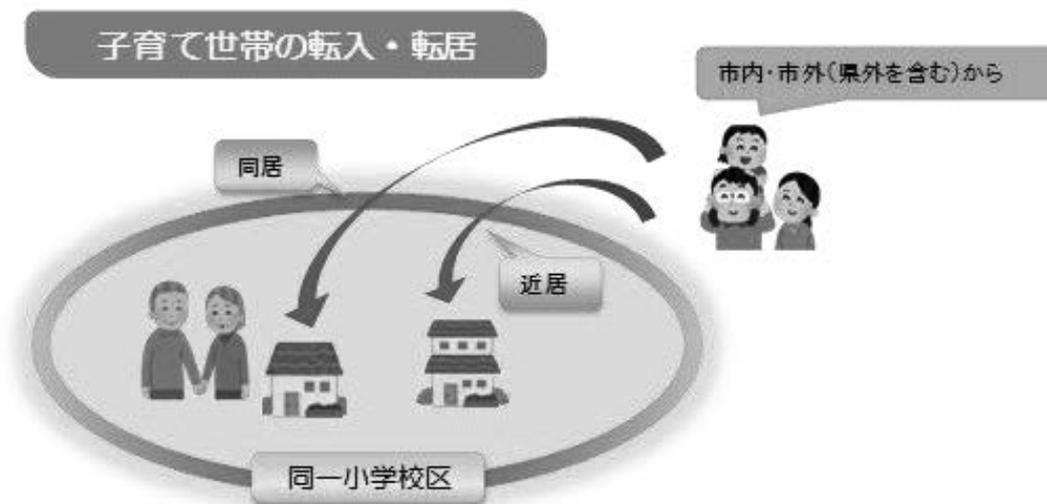
たかまつ創生総合戦略に掲げる「地域における子育て支援」施策として、子どもを安心して生み育てられ、また、高齢者等が安心して暮らせる環境づくりを進めるため、子育て世帯と親世帯とが同居又は同一小学校区に近居するに当たり、転居等の費用の一部を助成します。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
転居等の費用（対象費用の1/2）に対する助成（上限 県内 10 万円、 県外 20 万円）	継続実施	継続実施

目標

目標項目	現況値（H27.4）	目標値（H30）
事業成果世帯数（県内 50 件、県外 25 件）	-	75 件



※逆パターンとなる、親世帯の転入・転居も対象

子育て世代親元近居等支援事業のイメージ

**1-⑧**  
【特別重点】

**多子世帯保育料等減免事業（新規重点）**

こども園運営課

事業費（計画額）

**13億551万円**

※事業費は、減免措置による保育料（歳入）減10億3,700万円を含む。

概要

人口減少・少子化の流れを食い止め、若い世代が2人目、3人目の子どもを持ちたいと思えるような施策を推進するため、市独自の幼稚園・保育所等の利用料の第2子以降の多子世帯への上乗せ減免等を実施します。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
保育所・幼稚園・認定こども園・地域型保育 同時に在園する第2子及び18歳未満の第3子以降の無料化を実施 認可外保育施設 就学前の第2子及び18歳未満の第3子以降を対象に月額2万円を助成	継続実施	継続実施

目標

目標項目	現況値（H27.4）	目標値（H30）
保育所・幼稚園等入所（園）児童数	15,661人	<b>16,260人</b>



保育所における活動

**1-⑨**  
【特別重点】

**放課後児童クラブ事業**

子育て支援課

事業費（計画額）

23億4,188万円

概要

保護者が、就労等により昼間家庭にいない児童の健全な育成を図るため、適切な遊び及び生活の場を提供するとともに、学童保育を実施している社会福祉法人等を支援することにより、子育て支援の充実を図ります。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
公設46か所（うち民間委託1か所） 学童保育（社会福祉法人等）に対する支援12団体 障がい児支援（クラブ巡回、指導員研修） 施設整備4校区	公設46か所（うち民間委託1か所） 学童保育（社会福祉法人等）に対する支援13団体 障がい児支援（クラブ巡回、指導員研修） 施設整備6校区	公設46か所（うち民間委託1か所） 学童保育（社会福祉法人等）に対する支援13団体 障がい児支援（クラブ巡回、指導員研修） 施設整備5校区

目標

目標項目	現況値（H27.5）	目標値（H30）
待機児童数	183人	21人



放課後児童クラブ

**1 - ⑩**  
【特別重点】

**放課後子ども教室事業**

子育て支援課

事業費（計画額）

8, 238万円

概要

放課後等における児童の安全で安心な居場所づくりのため、各小学校区に、コーディネーター、教育活動推進員、教育活動サポーターを配置するなど、地域の協力を得ながら、学び、スポーツ、文化活動、地域の人との交流活動を行います。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
放課後子ども教室の実施 (37校区/47校区) 継続 34校区 新規 3校区	放課後子ども教室の実施 (40校区/47校区) 継続 37校区 新規 3校区	放課後子ども教室の実施 (43校区/47校区) 継続 40校区 新規 3校区
放課後子ども総合プラン運営委員会の開催(2回)	放課後子ども総合プラン運営委員会の開催(2回)	放課後子ども総合プラン運営委員会の開催(2回)
子どもの居場所づくり指導者養成事業(研修会)の開催(5回)	子どもの居場所づくり指導者養成事業(研修会)の開催(5回)	子どもの居場所づくり指導者養成事業(研修会)の開催(5回)
未実施校区地域関係者説明会の開催(3校区)	未実施校区地域関係者説明会の開催(3校区)	未実施校区地域関係者説明会の開催(3校区)

目標

目標項目	現況値 (H27.4)	目標値 (H30)
① 参加児童数	① 44,619人	① <b>50,000人</b>
② 登録児童数	② 2,505人	② <b>2,800人</b>



放課後子ども教室

1 - ① ファミリー・サポート・センター事業

子育て支援課こども未来館整備室

事業費（計画額）

3,851万円

概要

仕事と育児の両立を支援し、子育てしやすい環境をつくるため、地域において育児の援助を受けたい人と行いたい人が会員となり、育児について相互に助け合う会員（有償ボランティア）組織をつくり、その拠点として、「たかまつファミリー・サポート・センター」を設置し、会員組織の運営管理や相互援助活動の調整・支援などを行います。

【主な援助活動内容】

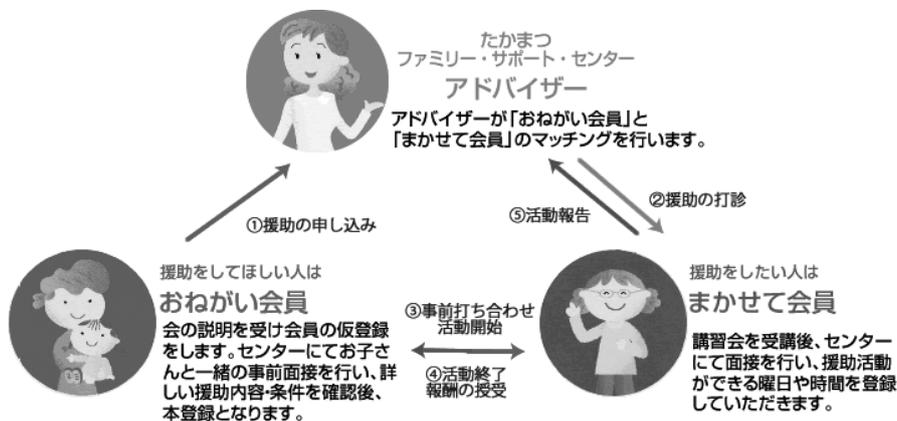
- ① 保育所や幼稚園までの送迎
- ② 保育時間前後の子どもの預かり
- ③ 保護者の病気や急用時、冠婚葬祭、他の子どもの学校行事など外出時の子どもの預かりなど

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
援助活動の調整・支援 5,600件 登録会員数 2,600人 会員養成講座の開催（6回） 会員スキルアップ講座の開催（3回） 会員交流会の開催（3回） ファミサポ通信の発行（20・21号）	援助活動の調整・支援 5,700件 登録会員数 2,700人 会員養成講座の開催（6回） 会員スキルアップ講座の開催（3回） 会員交流会の開催（3回） ファミサポ通信の発行（22・23号）	援助活動の調整・支援 5,800件 登録会員数 2,800人 会員養成講座の開催（6回） 会員スキルアップ講座の開催（3回） 会員交流会の開催（3回） ファミサポ通信の発行（24・25号）

目標

目標項目	現況値（H27.4）	目標値（H30）
① ファミリー・サポート・センター事業利用件数	① 5,334件	① 5,800件
② ファミリー・サポート・センター登録会員数	② 2,152人	② 2,800人



ファミリー・サポート・センターの活動内容

1 - ⑫

ユニバーサルデザイン推進事業

政策課ユニバーサルデザイン推進室

事業費(計画額)

104万円

概要

平成25年5月に策定した「高松市ユニバーサルデザイン基本指針」に基づき、誰もが安心して快適に生活することのできる、ユニバーサルデザイン社会の実現を目指すため、様々な主体が協働して取り組むことができるよう、その考え方や方向性について明らかにし、本市が率先して実践、啓発を行うことで、市民や事業者等にもユニバーサルデザインの考え方を広め、市全体で更なるユニバーサルデザインのまちづくりを推進します。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
ユニバーサルデザイン アイデアコンテストの実施 ユニバーサルデザイン展の開催 小学生学習用パンフレットの配布	ユニバーサルデザイン アイデアコンテストの実施 ユニバーサルデザイン展の開催 小学生学習用パンフレットの作成及び配布	ユニバーサルデザイン アイデアコンテストの実施 ユニバーサルデザイン展の開催 小学生学習用パンフレットの配布

目標

目標項目	現況値 (H27.4)	目標値 (H30)
小学生学習用パンフレット配布数	9,500部	28,500部



ユニバーサルデザイン展

1-13  
【特別重点】

在宅医療・介護連携推進事業

長寿福祉課地域包括ケア推進室

事業費（計画額）

3,657万円

概要

医療と介護の両方を必要とする高齢者が安心して暮らせる地域づくりを推進するため、在宅医療従事者で構成する在宅医療連携会議を開催し、在宅医療と介護サービスを一体的に提供できるよう、情報の共有と連携の強化に向けた地域の実情に応じたネットワークづくりを推進します。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
在宅医療連携会議の開催 医療介護情報便利帳（仮称）の作成、HP版作成 在宅医療コーディネーター養成研修 医療・介護関係者の研修 在宅医療と介護に関するシンポジウムの開催 同一医療圏関係者会の開催	在宅医療連携会議の開催 医療介護情報便利帳（仮称）の更新、HP版作成 在宅医療コーディネーター養成研修 医療・介護関係者の研修 在宅医療と介護に関する普及啓発 同一医療圏関係者会の開催 切れ目ない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築 医療・介護関係者の情報共有ツールの作成、導入支援	継続実施

目標

目標項目	現況値（H27.4）	目標値（H30）
実施した事業数	2事業	8事業



在宅医療コーディネーター養成研修

1-14  
【特別重点】

生活支援・介護予防サービス提供体制構築事業

長寿福祉課地域包括ケア推進室

事業費（計画額）

1億3,289万円

概要

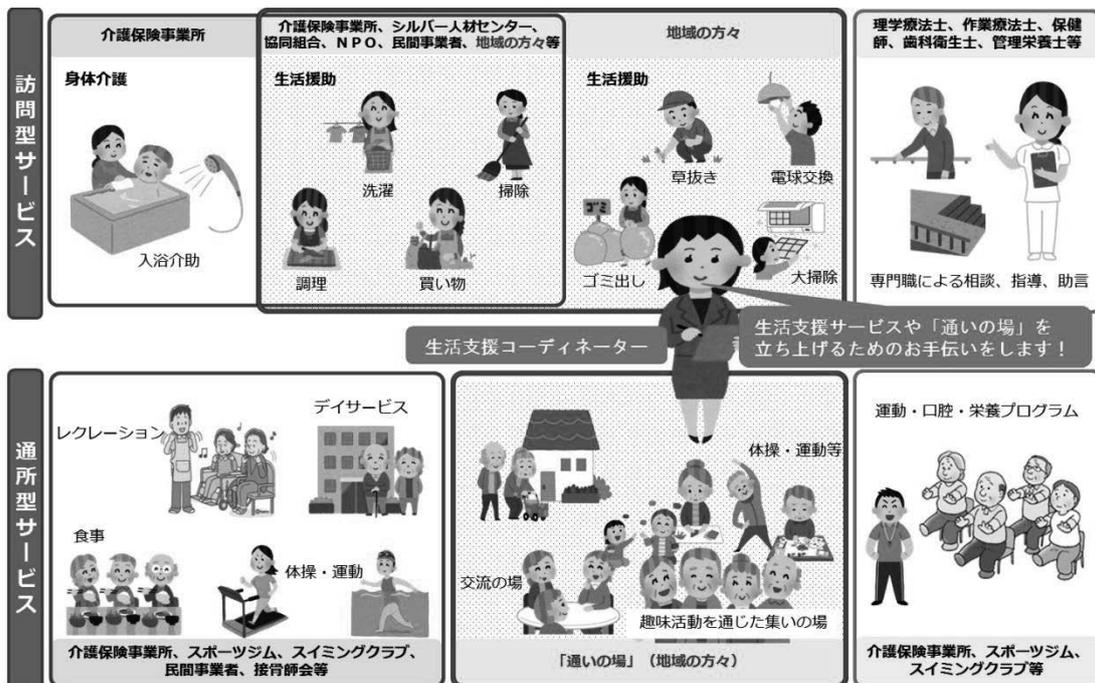
支援が必要な高齢者のニーズに対応するため、国のガイドラインに基づき、サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たす「生活支援コーディネーター」の設置や、コーディネーターとサービス提供主体が参画する「協議体」での情報共有・連携強化等を通じて、多様な主体による様々なサービスの提供体制を構築します。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
協議体会議の開催 市民等への周知・広報 生活支援コーディネーターの配置 サービス従事者への研修	継続実施	継続実施

目標

目標項目	現況値（H27.4）	目標値（H30）
体制構築進捗率	-	100%



サービス提供体制のイメージ

1-15  
【特別重点】

高齢者居場所づくり事業

長寿福祉課

事業費（計画額）

5,667万円

概要

高齢者が生きがいを持って地域で元気に暮らせる環境を整備するため、高齢者が地域で気軽に足を運べ、介護予防や健康づくりのほか、子どもたちを交えた世代間交流やボランティア活動の拠点となる居場所づくりを支援します。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
居場所の整備支援（112か所） 居場所の運営支援（312か所）	居場所の運営支援（312か所）	継続実施

目標

目標項目	現況値（H27.4）	目標値（H30）
① 主観的健康観の維持向上率	① 90%	① <b>90%</b>
② 介護保険の新規認定率	② 0.4%	② <b>0.4%</b>



居場所での活動（手作りカーリング）



居場所での活動（みんなで体操）

**1 - ⑯**  
【特別重点】

**高齢者見守り事業**

長寿福祉課

事業費（計画額）

2億3,367万円

概要

高齢者が地域で安心して暮らし続けられる環境を整備するため、定期的な高齢者の訪問や配食サービスによる安否確認や、24時間365日介護や日常生活の不安を相談できる専用ダイヤルの開設など、高齢者の見守り事業を推進します。

また、徘徊高齢者等の早期発見につなげるため、位置情報探索システム（GPS）や高松市徘徊高齢者等保護ネットワークを活用し、電子メール配信システムの運用により迅速かつ広範囲への情報伝達を行うことで、認知症等が原因で徘徊する高齢者の早期発見・保護に取り組みます。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
地域で支えあう見守り活動 たかまつ介護相談専用ダイヤルでの夜間・休日介護相談 高齢者宅訪問や配食サービスによる安否確認・相談 あんしん通報サービス事業 徘徊高齢者家族支援事業 位置情報探索システム（GPS）の活用 徘徊高齢者等保護ネットワーク（電子メール配信システムの運用） 特別あんしん見守り事業	継続実施	継続実施

目標

目標項目	現況値（H27.4）	目標値（H30）
① 見守り協定に基づく通報件数	① 20件	① 26件
② 見守り対象としたハイリスク高齢者のカバー率	② 40%	② 52%



協定訪問員による見守り活動

**1 - ⑰ 介護相談員派遣等事業**

介護保険課

事業費（計画額）

1,000万円

概要

介護サービス利用者の疑問や不満、不安の解消を図るため、一定の研修を受けた登録相談員を介護サービス事業所等に派遣して、利用者等の話を聞き、相談に応じるなどにより、事業所における介護サービスの質的な向上を図ります。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
相談員派遣（14人・21施設）	相談員派遣（18人・36施設） 介護相談員養成研修への参加（4人）	相談員派遣（18人・36施設）

目標

目標項目	現況値（H27.4）	目標値（H30）
介護相談員が受けた相談件数	—	1,620件



介護相談員の活動風景

**1 - ⑱**  
【特別重点】

**認知症ケア推進事業**

地域包括支援センター

事業費（計画額）

2, 177万円

概要

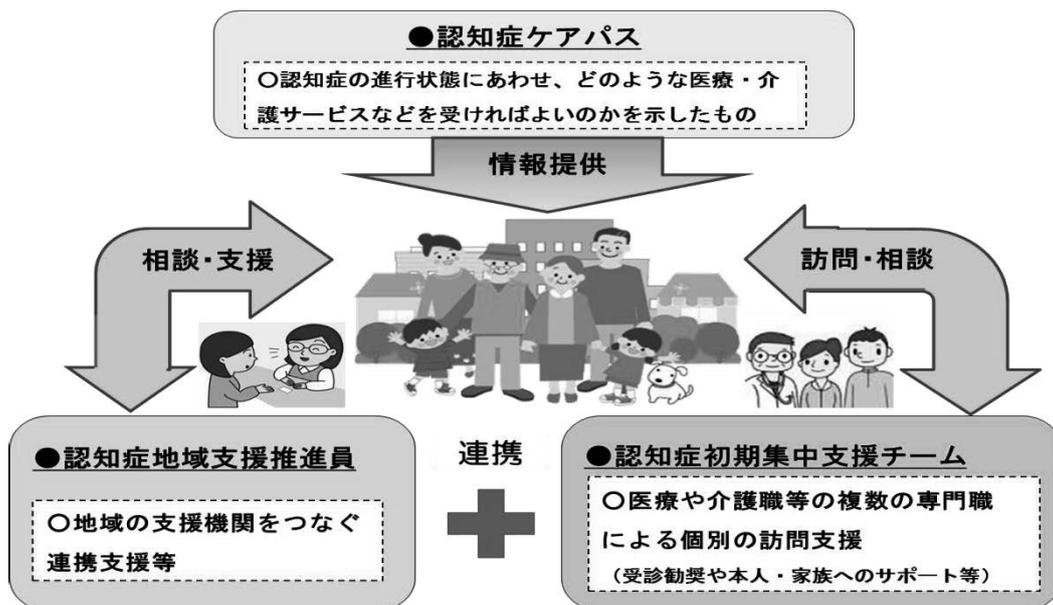
認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けることができる社会の実現を目指すため、認知症の方や家族を支援する「認知症地域支援推進員」の配置や、症状に応じた適切なサービス内容等をお知らせする「認知症ケアパス」の普及、また、認知症の初期から複数の専門職が訪問支援等を行う「認知症初期集中支援チーム」の設置・運営を行います。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
認知症地域支援推進員の配置 認知症ケアパスの普及推進 認知症初期集中支援チームの設置 認知症初期集中支援チーム検討委員会 の開催	継続実施	継続実施

目標

目標項目	現況値（H27.4）	目標値（H30）
① 認知症地域支援推進員が受けた相談件数のうち、医療等のサービス支援につながった数	① 109件	① 120件
② 認知症初期集中支援チームによる訪問件数のうち、医療や介護サービス等につながった実人数	② -	② 90人



認知症ケア推進事業のイメージ

1-19  
【特別重点】

地域ケア会議推進事業

地域包括支援センター

事業費（計画額）

311万円

概要

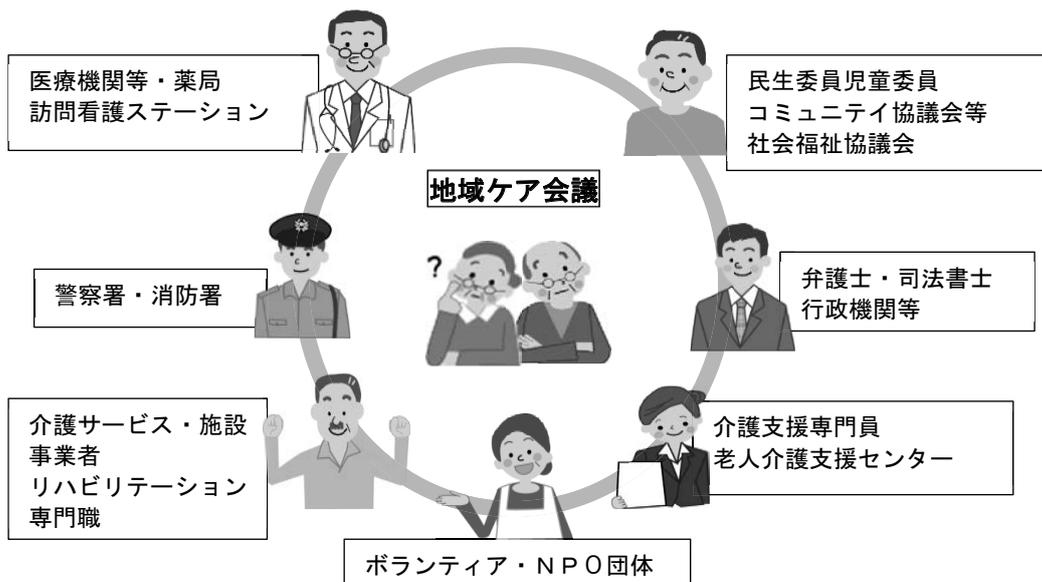
高齢者が介護や支援が必要となっても、住み慣れた地域で安心して安全に暮らせることのできる地域包括ケアシステムを実現するため、介護支援専門員からの相談体制を整えるとともに、地域ケア会議関係者のスキルアップを図るための研修会を開催するなど、「地域ケア会議」を実効性のあるものとして、定着・普及させます。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
地域ケア会議 年2回 地域ケア小会議 (地域課題) 44地区44回 (個別課題) 44地区54回 地域ケア小会議に係る研修会等の開催 年4回	地域ケア会議 年2回 地域ケア小会議 (地域課題) 44地区44回 (個別課題) 44地区59回 地域ケア小会議に係る研修会等の開催 年4回	地域ケア会議 年2回 地域ケア小会議 (地域課題) 44地区44回 (個別課題) 44地区64回 地域ケア小会議に係る研修会等の開催 年4回

目標

目標項目	現況値 (H27.4)	目標値 (H30)
事業所等の介護支援専門員が事例提供した割合	43.6%	50%



多職種・他機関が連携して高齢者の在宅生活を支援するイメージ

1 - ⑳

障がい者就労支援促進事業

障がい福祉課

事業費（計画額）

9, 154万円

概要

障がいのある方の就労促進と社会的、経済的な自立促進を図るため、中央商店街の空き店舗で障がい者を雇用し、事業を行う事業者等への支援を始め、知的障がい者・精神障がい者等の一般就労へ向けた支援を行います。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
空き店舗を活用した「障がい者就労の場」を開設する事業者等への支援 障がい者の雇用 公共施設内の「障がい者就労訓練の場」開設支援	継続実施	継続実施

目標

目標項目	現況値（H27.4）	目標値（H30）
①「障がい者就労の場」における障がい者の年間雇用者数	3人	9人
②「ヨロコビたかまつふれあいの店」で就労した障がい者延人数（累計）	25人	105人



障がい者就労訓練の場  
「ヨロコビ たかまつ ふれあいの店」



中央商店街の空き店舗を活用した  
「障がい者就労の場」

1-21  
【特別重点】

障がい者地域生活支援拠点等整備事業

障がい福祉課

事業費（計画額）

未定

概要

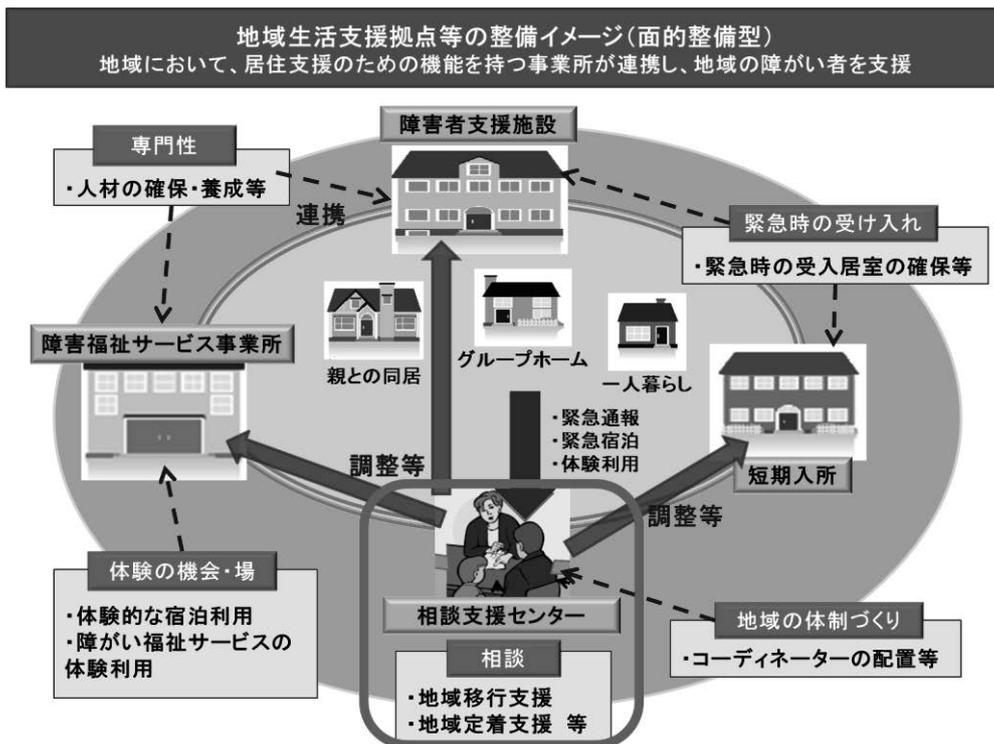
障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、地域生活への移行や定着を支援するため、障がい福祉サービス事業所等と連携ネットワークを構築するなど、居住支援のための機能（相談、体験の機会・場、緊急時の受け入れ・対応、専門性、地域の体制づくり）を強化し、様々な支援を切れ目なく提供できるサービス提供体制を整備します。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
体制整備及び構築 人材確保 地域の体制づくり（コーディネーター等との協議、調整）	体制整備及び構築 人材確保 地域の体制づくりの在り方検討（コーディネーター等との協議、調整） 各種研修等の実施	運用開始

目標

目標項目	現況値（H27.4）	目標値（H30）
サービス提供体制構築率	—	100% (H29)



1 - ②

障がい者アートリンク事業

障がい福祉課

事業費（計画額）

4,080万円

※総事業費（平成27年度繰越額を含む）は、4,280万円

概要

芸術活動を通じて障がい者の感性・創造力を育み、障がい者の社会参加の促進を図るため、希望する障害福祉サービス事業所等へ芸術家を派遣し、創造性の芽を持つ障がい者とアーティストが、長期継続的に関わることで生まれる新しい概念をかたちにする創作活動を支援します。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
芸術家の事業所への派遣（9か所） 報告展の開催 報告書の作成 2016 瀬戸内国際芸術祭関連イベントの開催	芸術家の事業所への派遣（10か所） 報告展の開催 報告書の作成	継続実施

目標

目標項目	現況値（H27.4）	目標値（H30）
アートリンクに参加した障がい者（児）延べ人数	1,834人	2,200人



アートリンク事業報告展

1 - ㉔

自殺対策推進事業

保健センター

事業費(計画額)

1,589万円

概要

自殺対策を推進するため、自殺予防についての普及啓発や自殺を予防するための人材育成に取り組むほか、関係機関との連携体制の充実を図ります。

また、ひきこもり対策の推進のため、ひきこもりサポーター派遣事業を実施します。

計画

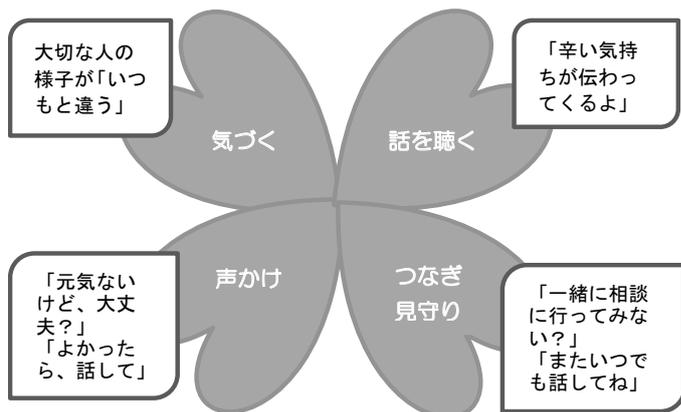
平成28年度	平成29年度	平成30年度
こころの健康相談 自殺対策に係る職員の育成 自殺予防の啓発 若者への支援 地域・職域への啓発 うつ病家族教室の開催 自殺対策強化月間等における啓発 メンタルヘルスチェックの導入 自殺未遂者等の相談支援 ひきこもりサポーターの派遣	継続実施	継続実施

目標

目標項目	現況値(H27.4)	目標値(H30)
① 健康教育の参加者数	① 4,260人	① 4,500人
② ひきこもりサポーター派遣回数	② -	② 20回

## 誰でも「ゲートキーパー」 ～いのちの門番になるのは、みんなです～

\*ゲートキーパーとは、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人のことです。



<身近な人の心を守るレンジャー>

1 - ②

がん対策推進事業

保健センター

事業費（計画額）

13億8,397万円

概要

がんは、死因の第1位で、約3割を占めていることから、がんの予防、早期発見・早期治療により、壮年期の死亡の減少、健康寿命の延伸を図るため、がん予防の普及啓発とがん検診の受診勧奨に取り組みます。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
がん予防の普及啓発 各種がん検診（胃・肺・大腸・子宮頸・乳・前立腺）の実施 がん検診受診勧奨 がん検診受診券の送付 企業や職域等との連携強化による働き盛り世代や女性への受診勧奨 精密検査未受診者に対する受診勧奨 子宮頸がん予防ワクチン接種の実施	継続実施	継続実施

目標

目標項目	現況値（H27.4）	目標値（H30）
がん検診受診率	24.9%	50%



がん検診啓発ラッピングバス

1 - ⑤  
【特別重点】

新病院（附属医療施設を含む）整備事業

新病院整備課

事業費（計画額）

188億5,322万円

概要

「高松市民病院と香川診療所を移転統合した新病院を整備し、塩江分院をその附属医療施設とする。」という基本方針に基づき、新病院は、本市医療全体の最適化を目指すリーディングホスピタルとして、急性期医療及び地域包括ケアの後方支援機能を担える病院に整備するとともに、附属医療施設は、「地域まるごと医療」を実践し、塩江の地域包括ケアに貢献できる病院に整備します。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
【新病院】 建設工事等	【新病院】 建設工事等 【附属医療施設】 設計業務等 造成工事等	【新病院】 建設工事等 医療機器購入等 新病院開院 【附属医療施設】 建設工事等

目標

目標項目	現況値（H27.4）	目標値（H30）
① 新病院整備進捗率	① 30.6%	① <b>100%</b>
② 附属医療施設整備進捗率	② -	② <b>69.7%</b>

※施設整備事業は、全工程中、基本設計完了で20%、実施設計完了で30%  
その後の工事工程については事業費で進捗率を管理



新病院の完成イメージ

## まちづくりの目標2 心豊かで未来を築く人を育むまち

### 重点的・戦略的に推進する事業

	【重点取組事業名】	【担当課】	【ページ】
2-①	男女共同参画センター移転整備事業	政策課男女共同参画推進室	42
2-②	女性の就労相談事業（新規）	政策課男女共同参画推進室	43
2-③	女性の活躍促進事業（新規）	政策課男女共同参画推進室	44
2-④	特別支援教育推進事業	学校教育課	45
2-⑤	少人数学級推進事業	学校教育課	46
2-⑥	英語教育推進事業	学校教育課	47
2-⑦	小中一貫・連携教育推進事業	学校教育課	48
2-⑧	学校図書館活性化推進事業	学校教育課	49
2-⑨	児童生徒指導推進事業	学校教育課	50
2-⑩	小・中学校校舎等増・改築事業	教育局総務課	51
2-⑪	小・中学校施設老朽化対策事業	教育局総務課	52
2-⑫	給食センター整備事業	保健体育課	53
2-⑬	高松第一高等学校校舎等改築事業	高松第一高等学校	54
2-⑭	子どもを中心にした地域交流事業	生涯学習課	55
2-⑮	大学等連携による地域の魅力発信事業（新規）	政策課	56
2-⑯	図書館分室活性化事業（新規）	中央図書館	57
2-⑰	文化センター・児童館整備事業	人権啓発課	58
2-⑱	平和記念館整備事業	人権啓発課	59

2-①

男女共同参画センター移転整備事業

政策課男女共同参画推進室

事業費(計画額)

830万円

※建築工事の事業費は、こども未来館整備事業を含む

概要

男女の自立と男女共同参画社会の実現に向けた市民活動拠点である男女共同参画センターの老朽化や耐震診断の結果を踏まえ、引き続き、学習研修事業、相談事業、情報収集・提供事業、活動交流事業等を推進するため、「高松市こども未来館」や「高松市平和記念館」等と同一の建物内に移転整備します。

計画

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
建築工事 開館準備			

目標

目標項目	現況値(H27.4)	目標値(H30)
男女共同参画センター整備進捗率(平成28年度 整備完了予定)	83.3%	100% (H28)

※施設整備事業は、全工程中、基本設計完了で20%、実施設計完了で30%  
その後の工事工程については事業費で進捗率を管理



男女共同参画センターの館内イメージ

**2-②**  
【特別重点】

**女性の就労相談事業（新規）**

政策課男女共同参画推進室

事業費（計画額）

未定

概要

女性の継続就業や再就職などを支援するため、相談窓口において、キャリアプランに関する相談や働く上での不安や悩みの相談に応じるほか、就職活動に関する具体的なアドバイス等を行います。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
女性の就労相談窓口の設置	継続実施	継続実施

目標

目標項目	現況値（H27.4）	目標値（H30）
相談窓口利用者のうち就業につながった人数	—	30人



**【窓口の役割】**

- ① 結婚後や出産・育児期の女性の継続就業を支援
- ② 出産・育児・介護でいったん離職した女性の再就職等を支援
- ③ 就業希望の中での不安や悩みについて、本人や家族等からの相談に対応

就労相談事業

施策名：(211) 男女共同参画の推進

2-③  
【特別重点】

## 女性の活躍促進事業（新規）

政策課男女共同参画推進室

事業費（計画額）

1,500万円

### 概要

市内企業での積極的な女性の活躍促進やワーク・ライフ・バランスの推進を図るため、企業等のトップや管理職、女性社員等を対象とした各種セミナーや講座を開催するほか、事業主行動計画の策定などを支援するためのアドバイザー派遣等を行います。

### 計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
各種セミナーの開催 事業所へのアドバイザーの派遣等	継続実施	継続実施

### 目標

目標項目	現況値（H27.4）	目標値（H30）
管理職に占める女性の割合が30%以上である事業所の割合	16.2%	30.0%



啓発セミナー開催のイメージ

2-④

特別支援教育推進事業

学校教育課

事業費(計画額)

3億5,187万円

概要

学校教育法等の改正を踏まえ、様々な障がいのある児童生徒に対して適切な教育を行うため、小・中学校に特別支援教育支援員や特別支援教育サポーターを配置し、学校生活上の介助や学習活動上の支援を行います。

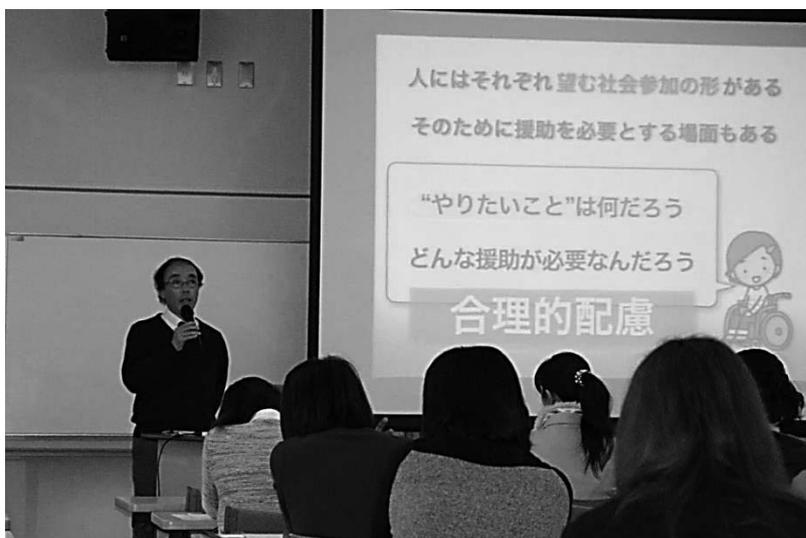
また、保護者や指導者が、発達障害の児童生徒への自立支援に必要な知識の取得や技能の向上を図るため、ソーシャルスキルトレーニング研修を実施します。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
特別支援教育支援員の配置 中学校 21人 小学校 44人 特別支援教育サポーターの配置 中学校 16人 小学校 28人 ソーシャルスキルトレーニング研修の実施	継続実施	継続実施

目標

目標項目	現況値(H27.4)	目標値(H30)
特別支援教育支援員配置率(必要配置校に対する配置割合)	100%	100%



ソーシャルスキルトレーニング研修

**2-⑤ 少人数学級推進事業**

学校教育課

事業費（計画額）

7,576万円

概要

進路指導や生徒指導の充実により、安定した学校生活の推進を図るため、本市独自の教員採用による少人数学級編制を行い、個に応じた分かる授業を展開し、確かな学力を育みます。

【対象】 小学校高学年の児童が1学年106人以上、1学級35人以上の児童数を有し、施設面で対応可能な学校

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
少人数学級編制（小学校8校の高学年） 教員（常勤講師）の配置 8人	継続実施	継続実施

目標

目標項目	現況値（H27.4）	目標値（H30）
市独自の少人数学級編制校数	8校	8校



少人数学級による授業

2-⑥ 英語教育推進事業

学校教育課

事業費(計画額)

3億4,400万円

概要

英語教育の充実を図るとともに、コミュニケーション能力を育成し、国際理解教育を推進するため、中学校への外国語指導助手(ALT)の配置を継続実施します。

また、児童の英語教育を推進するため、各小学校へ学級担任とともに英語の指導を行う英語指導補助員を配置し、1年生から6年生を対象に、小学校英語教育を実施するとともに、代表児童と外国語指導助手(ALT)との1日英語生活体験教室を開催します。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
外国語指導助手(ALT)の配置 中学校 22人 英語指導補助員の配置 小学校 48人 小学生を対象とした1日英語生活体験教室の実施	継続実施	継続実施

目標

目標項目	現況値(H27.4)	目標値(H30)
外国語指導助手(ALT)配置率	100%	<b>100%</b>



指導助手(ALT)を交えてのチームティーチング

2-⑦ 小中一貫・連携教育推進事業

学校教育課

事業費(計画額)

1,920万円

概要

高松第一小学校及び中学校において実施している義務教育9年間の連続性、発展性に留意した小中一貫教育の成果を踏まえ、市内の全小・中学校において中1ギャップの解消など小中連携教育を推進するため、小中連携推進校を指定し、研究・実践や小中交流会を行うとともに、中学校の指定校に中1スタートサポーターを配置します。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
小中一貫教育の成果を踏まえた小中連携教育の推進 各中学校区における小中交流会等の開催 小中連携推進校の指定 26校 中1スタートサポーターの配置 5人	小中一貫教育の成果を踏まえた小中連携教育の推進 各中学校区における小中交流会等の開催 中1スタートサポーターの配置 5人	継続実施

目標

目標項目	現況値(H27.4)	目標値(H30)
① 「英語」・「高松みらい」の授業についてのアンケート支持率	① 80%	① <b>80%</b>
② 小中連携教育の実践校数	② 71校	② <b>71校</b>



小中学生によるスマイルあいさつ運動



中学生が小学生に掃除指導

**2-⑧ 学校図書館活性化推進事業**

学校教育課

事業費(計画額)

4億3,170万円

概要

学校図書館用図書の一層の効果的活用を図るとともに、児童生徒の個性を伸ばす教育に資するため、学校図書館指導員を学校の規模等に応じて小・中学校に配置し、学校図書館の活性化を図ります。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
学校図書館指導員の配置 62人 指導員研修会の実施 図書館ボランティアネットワークかがわとの協働事業の活用 親子読書活動の推進	学校図書館指導員の配置 65人 指導員研修会の実施 図書館ボランティアネットワークかがわとの協働事業の活用 親子読書活動の推進	継続実施

目標

目標項目	現況値(H27.4)	目標値(H30)
① 小学生1人当たりの学校図書館図書の年間貸出冊数	① 50冊	① 55冊
② 中学生1人当たりの学校図書館図書の年間貸出冊数	② 10冊	② 12冊



学校図書館指導員による読み聞かせ

2-⑨  
【特別重点】

児童生徒指導推進事業

学校教育課

事業費(計画額)

2億9,993万円

概要

児童生徒のいじめ、暴力行為、不登校など、問題行動等の未然防止と解消を図るため、小学校に「ハートアドバイザー」、中学校に「スクールソーシャルワーカー」を配置し、学習・生活支援、教育相談に当たるとともに、児童生徒が抱える問題の背景にある複雑な要因に対応した、組織的かつ体系的な生徒指導を推進します。

また、いじめの早期発見・早期対応などの防止対策を強化するため、いじめ相談専門員を配置し、相談対応の充実を図ります。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
ハートアドバイザーの配置 小学校 40人 スクールソーシャルワーカーの配置 中学校 12人 いじめ相談専門員の配置 2人	継続実施	継続実施

目標

目標項目	現況値(H27.4)	目標値(H30)
① 小学校における暴力行為の発生件数	① 7件	① 7件
② 中学校における暴力行為の発生件数	② 217件	② 217件



スクールソーシャルワーカーによるグループワーク

**2-10**  
【特別重点】

**小・中学校校舎等増・改築事業**

教育局総務課

事業費（計画額）

9 1 億 4, 7 9 2 万円

概要

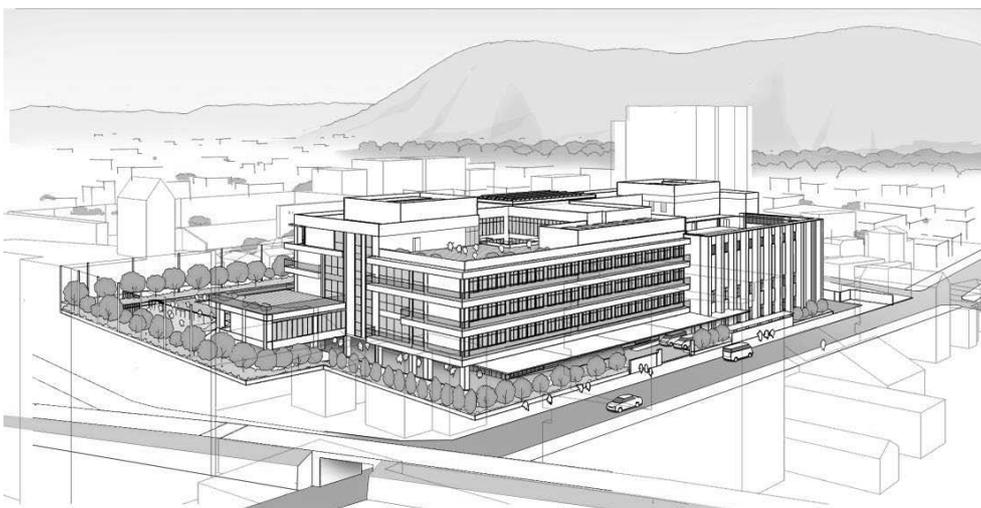
教育環境の向上を図るため、教室不足が生じている小学校の校舎の増築及び建築後50年以上経過し、老朽化が著しい学校施設の改築を行います。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
屋島中学校 体育館建設工事等	屋島中学校 プール建設工事等	屋島中学校 外構整備等
栗林小学校 校舎建設工事等	栗林小学校 校舎建設工事等	栗林小学校 付属棟建設工事等
林小学校 校舎増築実施設計等	林小学校 校舎増築工事等	多肥小学校 校舎増築工事等
多肥小学校 校舎増築基本設計等	多肥小学校 校舎増築実施設計等	

目標

目標項目	現況値 (H27.4)	目標値 (H30)
整備事業の進捗率（平成28年度～30年度までの計画に対する進捗）	—	<b>100%</b>



栗林小学校新校舎外観イメージ

2-⑪  
【特別重点】

小・中学校施設老朽化対策事業

教育局総務課

事業費(計画額)

2,210万円

※老朽化対策に係る設計、工事費は未定

概要

小・中学校施設について、維持管理コストを抑えながら長寿命化を図り、良好な教育環境を維持するとともに、ファシリティマネジメントの視点に立った施設の有効利用を図るため、中・長期的視点に立った学校施設整備計画(仮称)を策定し、計画的かつ効果的な老朽化対策に取り組みます。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
小・中学校施設整備計画(仮称)指針の策定 小・中学校施設老朽化等調査	小・中学校施設整備計画(仮称)の策定 小・中学校施設老朽化等調査 老朽化対策工事实施設計	老朽化対策工事实施設計 老朽化対策工事

目標

目標項目	現況値(H27.4)	目標値(H30)
老朽化対策進捗率	-	5%



学校施設老朽化対策事業の流れ

**2-⑫**  
【特別重点】

**給食センター整備事業**

保健体育課

事業費（計画額）

13億1,537万円

概要

安全で安心な学校給食の提供を図るため、施設の老朽化が著しい調理場や校区内の児童生徒数の増加により調理能力がひっ迫している調理場について、複数の調理場を統合し、新設第二学校給食センター（仮称）を建設するなど、施設整備を計画的に行います。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
新設第二学校給食センター（仮称） 用地購入 基本設計・実施設計 建設用地の造成設計	新設第二学校給食センター（仮称） 実施設計・造成設計 建設用地の造成工事	新設第二学校給食センター（仮称） 建設工事 厨房用備品購入

目標

目標項目	現況値（H27.4）	目標値（H30）
新設第二学校給食センター（仮称）整備進捗率 （平成31年度 整備完了予定）	—	<b>60%</b>

※施設整備事業は、全工程中、基本設計完了で20%、実施設計完了で30%  
その後の工事工程については事業費で進捗率を管理



朝日新町学校給食センター（平成20年9月1日開設）

2-13  
【特別重点】

高松第一高等学校校舎等改築事業

高松第一高等学校

事業費(計画額)

13億2,866万円

概要

生徒の安全で快適な学習環境の確保を図るため、老朽化が著しい高松第一高等学校校舎等の全面改築を行います。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
実施設計 プール解体工事	実施設計 仮設校舎設置	仮設校舎設置 校舎棟解体工事 新校舎棟建設工事

目標

目標項目	現況値(H27.4)	目標値(H30)
高松第一高等学校校舎等改築進捗率 (平成34年度 整備完了予定)	-	37%

※施設整備事業は、全工程中、基本設計完了で20%、実施設計完了で30%  
その後の工事工程については事業費で進捗率を管理



現在の高松第一高等学校

2-14

子どもを中心にした地域交流事業

生涯学習課

事業費（計画額）

476万円

概要

地域の大人と子どもと一緒に活動することで、顔見知りになる地域づくりを推進し、地域ぐるみで子どもを育む機運を醸成させるため、各地域コミュニティ協議会の複数の各種団体が構成された実行委員会が実施する子ども、保護者及び地域の大人が交流する地域交流事業を支援します。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
地域の実行委員会が実施する子どもを中心にした地域交流事業を支援 新規 4団体 継続 8団体	地域の実行委員会が実施する子どもを中心にした地域交流事業を支援 新規 4団体 継続 12団体	継続実施

目標

目標項目	現況値（H27.4）	目標値（H30）
① 地域交流事業に参加した児童生徒の累計人数	① 1,512人	① 9,000人
② 地域交流事業に参加した保護者の累計人数	② 336人	② 2,000人



家庭・地域の教育力向上推進事業におけるモデル地区の取組（ラジオ体操）

2-⑮  
【特別重点】

大学等連携による地域の魅力発信事業（新規）

政策課

事業費（計画額）

932万円

概要

学生の視点を生かしながら、本市における地域活性化策の検討と地域での実践活動を行い、活力のある地域再生を図るため、香川大学が本市を始め、県内8自治体と連携して実施する、地域課題の解決を図るために取り組む「瀬戸内地域の活性化と地（知）の拠点整備事業」等を支援します。

また、大学等と連携し、地元大学等の魅力向上に資する事業の支援や地域の魅力を発信する事業に取り組みます。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
市長と学長・校長との懇談会の開催 瀬戸内地域の活性化と地（知）の拠点整備事業の取組 トビタテ！留学ジャパン「地域人材育成コース」に対する支援 大学等連携による地域の魅力発信事業の実施	継続実施	継続実施

目標

目標項目	現況値（H27.4）	目標値（H30）
大学等連携による地域の魅力発信の取組事業数	—	5件



大学生が作成した街歩きマップ（地（知）の拠点整備事業）

2-⑯ 図書館分室活性化事業（新規）

中央図書館

事業費（計画額）

690万円

概要

コミュニティセンター内にある図書館分室の活性化を図り、市民の読書意欲を向上させるとともに、生涯学習の支援、推進につなげるため、図書館分室の資料を充実させます。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
新規購入図書の配置 各コミュニティセンター職員に対する研修の実施 図書館分室資料の全部入替（24分室）	新規購入図書の配置 各コミュニティセンター職員に対する研修の実施 図書館分室資料の全部入替（26分室）	各コミュニティセンター職員に対する研修の実施 図書館分室資料の全部入替（26分室）

目標

目標項目	現況値（H27.4）	目標値（H30）
図書館分室の図書貸出冊数	30,000冊	32,000冊



中央図書館下笠居分室（下笠居コミュニティセンター内）

2-⑰

文化センター・児童館整備事業

人権啓発課

事業費(計画額)

5億3,162万円

概要

地域における福祉の向上や人権啓発のための「住民交流の拠点」である文化センターと、健康増進や情操教育など、児童の健全育成を図るための児童館の適切な管理運営のため、「文化センター・児童館改修計画」に基づき、施設の計画的な修繕・改修等を行います。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
大規模修繕工事 中原文化センター 田村文化センター(予定)	大規模修繕工事実施設計 吉光文化センター	大規模修繕工事 吉光文化センター 大規模修繕工事実施設計 新居児童館

目標

目標項目	現況値(H27.4)	目標値(H30)
文化センター・児童館改修進捗率	1.1%	72.5%



改修後の文化センター

2 - ⑱

平和記念館整備事業

人権啓発課

事業費（計画額）

1億613万円

概要

市民文化センターの老朽化等による廃止のため、平成24年3月閉館した平和記念室の基本理念を継承し、戦争の悲惨さと平和の尊さを訴えるとともに、平和を願う市民の心を継承していくため、市民文化センター跡地に「高松市こども未来館」や「高松市男女共同参画センター」、「高松市夢みらい図書館」と一体的に「高松市平和記念館」として整備します。

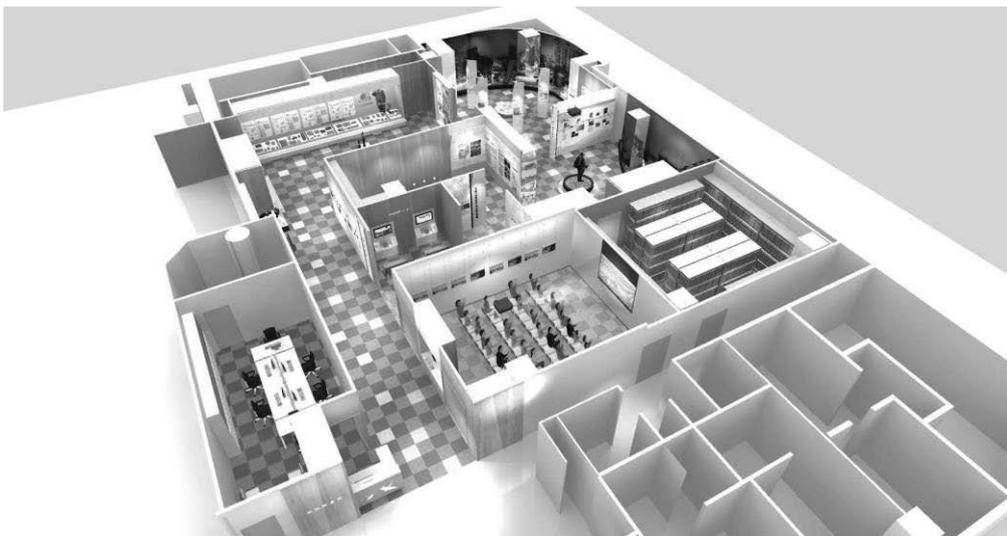
計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
平和記念館展示製作の実施 開館準備		

目標

目標項目	現況値 (H27.4)	目標値 (H30)
平和記念館整備進捗率 (平成28年度 整備完了予定)	68.1%	<b>100%</b> <b>(H28)</b>

※施設整備事業は、全工程中、基本設計完了で20%、実施設計完了で30%  
その後の工事工程については事業費で進捗率を管理



平和記念館整備イメージ

## 第2章

重点取組事業

## まちづくりの目標3

### 産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち

#### 重点的・戦略的に推進する事業

	【 重点取組事業名 】	【 担当課 】	【 ページ 】
3-①	中央商店街にぎわい促進事業	産業振興課	62
3-②	企業誘致・起業支援による地域経済活性化促進事業	産業振興課	63
3-③	遊休農地有効活用事業	農林水産課	64
3-④	有害鳥獣被害対策事業	農林水産課	65
3-⑤	卸売市場活性化推進事業	市場業務課	66
3-⑥	卸売市場整備事業	市場業務課	67
3-⑦	伝統的ものづくり支援事業	産業振興課 農林水産課	68
3-⑧	アート・シティ高松プロモーション事業	文化芸術振興課	69
3-⑨	瀬戸内国際芸術祭推進事業	文化芸術振興課	70
3-⑩	高松国際ピアノコンクール事業	文化芸術振興課	71
3-⑪	史跡・天然記念物屋島保存・整備事業	文化財課	72
3-⑫	史跡石清尾山古墳群保存・整備事業	文化財課	73
3-⑬	高松城跡整備事業	文化財課	74
3-⑭	障がい者スポーツ推進事業（新規）	障がい福祉課 スポーツ振興課	75
3-⑮	屋島陸上競技場再整備事業	スポーツ振興課	76
3-⑯	南部地域スポーツ施設（仮称）整備事業	スポーツ振興課	77
3-⑰	ヨット競技場再整備事業	スポーツ振興課	78
3-⑱	地域密着型トップスポーツチーム支援事業	スポーツ振興課	79
3-⑲	屋島活性化推進事業	政策課 観光交流課	80
3-⑳	源平屋島地域観光振興事業	観光交流課	81
3-㉑	高松城跡（玉藻公園）をいかした観光振興事業	観光交流課	82
3-㉒	温泉をいかした塩江地域の観光振興事業	観光交流課	83
3-㉓	海外誘客促進事業	観光交流課	84
3-㉔	国内誘客促進事業	観光交流課	85
3-㉕	観光情報発信・受入態勢整備推進事業	観光交流課	86
3-㉖	M I C E 振興戦略（仮称）策定事業（新規）	政策課	87
3-㉗	移住・交流促進事業	政策課	88

3-①

中央商店街にぎわい促進事業

産業振興課

事業費(計画額)

2億1,781万円

概要

中央商店街のにぎわい向上や商業機能の強化を図るため、空き店舗の改装費を支援する空き店舗活用補助等を始め、商店街共同施設の新設・改修事業等に対する経費の一部助成や、平成21年7月に常磐町商店街に開設したブリーザーズ スクエア(ブリスク)を活用して、商店街南部エリア活性化などを行います。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
空き店舗活用支援 ブリスク運営支援	空き店舗活用支援 ブリスク運営支援 商店街活性化促進の取組 商店街共同施設整備助成	継続実施

目標

目標項目	現況値(H27.4)	目標値(H30)
① 中央商店街の空き店舗率	① 17.2%	① 14.9%
② 中央商店街の歩行者通行量	② 118,731人	② 141,000人



高松南部3町ドームでのイベント

<b>3-②</b> 【特別重点】	<b>企業誘致・起業支援による地域経済活性化促進事業</b>	産業振興課
		事業費(計画額) 2億7,316万円

**概要**

地域経済の活性化や雇用の確保を図るため、企業誘致専門員による企業立地のための情報収集や誘致活動のほか、平成21年度から施行した企業誘致優遇制度を活用し、企業誘致を推進します。

また、四番丁スクエア内に設置した創造支援センターを活用して、創造性に富む発想や独自性のある技術を活用した新規事業者等の支援や、平成27年度に策定した創業支援計画に基づき、関係団体等との連携を強化するとともに、創業者支援の事業を実施します。

**計画**

平成28年度	平成29年度	平成30年度
企業誘致優遇制度に基づく助成 創造支援センター管理運営 創業支援に係る連携窓口設置	継続実施	継続実施

**目標**

目標項目	現況値(H27.4)	目標値(H30)
企業誘致助成制度指定件数(21年度以降の累計)	35件	50件



県と連携した展示会等における誘致活動

**3-③ 遊休農地有効活用事業**

農林水産課

事業費（計画額）

2,850万円

概要

高齢化の進行、後継者不足等に伴い耕作放棄地が増加していることから、優良農地を確保するため、放棄地の再生利用や農地の貸借による耕作の継続などを実施することにより、放棄地増加を抑制し農地の保全を図ります。

計画

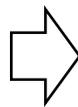
平成28年度	平成29年度	平成30年度
耕作放棄地再生利用事業（耕作放棄地再生利用面積（3.0ha））	継続実施	継続実施

目標

目標項目	現況値（H27.4）	目標値（H30）
耕作放棄地の再生利用面積（累積）	15.0ha	<b>22.0ha</b>



再生前



再生後

**3-④**

**有害鳥獣被害対策事業**

農林水産課

事業費(計画額)

7,683万円

概要

市内におけるイノシシ等による農産物等の被害を防止し、農業の育成を図るため、鳥獣被害防止計画に基づき、猟友会等による捕獲活動や農家の防護柵等設置経費の助成を行い、農作物被害の軽減を図ります。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
鳥獣被害防止対策支援(地域リーダー養成) 防護柵等購入費助成 イノシシ等被害防止対策事業	継続実施	継続実施

目標

目標項目	現況値(H27.4)	目標値(H30)
① 有害許可捕獲による捕獲頭数	① 400頭	① <b>650頭</b>
② 有害鳥獣による農作物被害面積	② 19.53ha	② <b>19.53ha</b>



集落単位での侵入防護柵

3-⑤ 卸売市場活性化推進事業

市場業務課

事業費（計画額）

847万円

概要

市民に親しまれ、開かれた活力ある市場づくりを推進するため、「卸売市場の活性化に関するマスタープラン」に基づき、各種事業に取り組めます。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
市場フェスタの開催 たかまつはないちばふえすたの開催 市場特別開放の開催 夏休み市場D E自由研究の開催 市場開設50周年記念式典の開催 中央卸売市場の活性化に関するマスタープランの更新	市場フェスタの開催 たかまつはないちばふえすたの開催 市場特別開放の開催 夏休み市場D E自由研究の開催 市場開設50周年特別イベントの開催	市場フェスタの開催 たかまつはないちばふえすたの開催 市場特別開放の開催 夏休み市場D E自由研究の開催

目標

目標項目	現況値（H27.4）	目標値（H30）
① 市場への一般市民の来場者数	① 24,000人	① <b>24,000人</b>
② 当該年次取扱高を対前年比の95%以上にする	② 95%	② <b>95%</b>



市場フェスタ 2015（マグロ解体ショー）

**3-⑥**  
【特別重点】

**卸売市場整備事業**

市場業務課

事業費（計画額）

14億2,124万円

概要

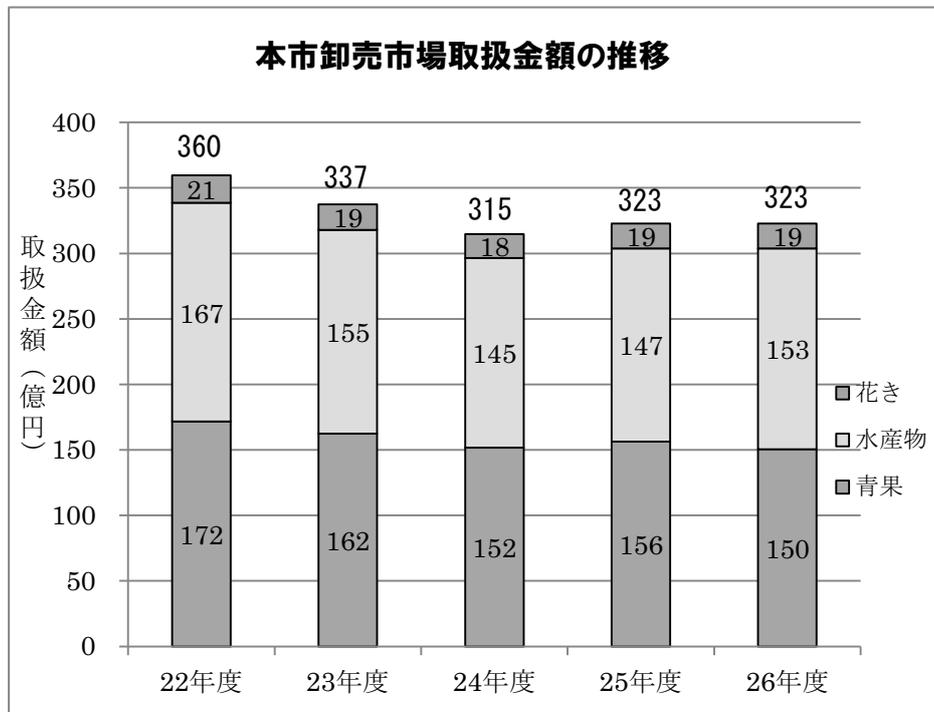
流通拠点施設としての卸売市場の機能強化を図るため、老朽化し、また、耐震性及び品質管理・衛生管理に課題がある青果棟、水産物棟を、コールドチェーン化や省エネルギー化にも対応した施設として整備します。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
PFI導入可能性調査 交通量調査等 基本設計（青果棟）の検討等	都市計画決定 用地取得等	実施設計（青果棟） 基本設計（水産物棟）

目標

目標項目	現況値（H27.4）	目標値（H30）
卸売市場の取扱金額	323億円	<b>323億円</b>



※各取扱金額は、四捨五入により表示。

**3-⑦**  
【特別重点】

**伝統的ものづくり支援事業**

産業振興課

農林水産課

事業費（計画額）

**3,976万円**

※総事業費（平成27年度繰越額を含む）は、4,076万円

概要

盆栽・漆器・石製品を始めとする、本市伝統的ものづくり産業を振興するため、「高松市伝統的ものづくり振興条例」（平成26年度施行）の基本理念に基づき、伝統的ものづくり産業の普及啓発・販路拡大や、次世代への担い手の確保・養成を図り、特産品の育成・振興とブランド化の推進及び地場産業の活性化を推進します。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
伝統的ものづくり振興審議会開催 伝統的ものづくり夏休み親子体験教室・学校巡回教室開催 伝統的ものづくり人材育成県外派遣の取組 伝統的ものづくり企画展示セミナー開催 産業観光伝統的ものづくり体験の開催 香川漆芸認知度向上 第8回世界盆栽大会 in さいたま出展 展示会及び見本市出展補助 伝統的ものづくり振興事業補助 高松盆栽の輸出振興 高松盆栽の振興	継続実施	伝統的ものづくり振興審議会開催 伝統的ものづくり夏休み親子体験教室・学校巡回教室開催 伝統的ものづくり人材育成県外派遣の取組 伝統的ものづくり企画展示セミナー等開催 産業観光伝統的ものづくり体験の開催 香川漆芸認知度向上 展示会及び見本市出展補助 伝統的ものづくり振興事業補助 高松盆栽の輸出振興 高松盆栽の振興

目標

目標項目	現況値 (H27.4)	目標値 (H30)
① 普及啓発事業等参加人数	① 600件	① <b>750件</b>
② 販路開拓事業等来場者数	② 18,200人	② <b>20,000人</b>



伝統的ものづくり夏休み親子体験教室



高松盆栽ロゴマーク

**3-⑧**

**アート・シティ高松プロモーション事業**

文化芸術振興課

事業費(計画額)

**7,874万円**

※総事業費(平成27年度繰越額を含む)は、8,874万円

概要

文化芸術を通して、市民がいいきいと心豊かに暮らせるまち、高松を実現するため、「高松市文化芸術振興条例(平成25年12月制定)」や「高松市文化芸術振興計画(平成27年3月策定)」に基づき、アーティスト・イン・レジデンス、0才からのコンサート、まちなかパフォーマンスなど、多彩なアート展開により本市のシティプロモーションを推進します。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
アーティスト・イン・レジデンスの実施 0才からのコンサートの開催 まちなかパフォーマンス まちなかコンサートの開催 たかまつ大道芸フェスタの開催 アートディレクターの設置	継続実施	継続実施

目標

目標項目	現況値(H27.4)	目標値(H30)
まちなかパフォーマンス等観覧者数	56,000人	<b>70,000人</b>



たかまつ大道芸フェスタ



まちなかコンサート

**3-9**  
【特別重点】

**瀬戸内国際芸術祭推進事業**

文化芸術振興課

事業費(計画額)

1億4,214万円

※総事業費(平成27年度繰越額含む)は、1億4,414万円

概要

文化芸術の振興と、瀬戸内の活性化や地域振興、世界に向けての情報発信に寄与するため、現代アートの作家や建築家と協働する国際的な芸術祭と位置付けた瀬戸内国際芸術祭を、県、関係市町及び福武財団等で組織する実行委員会が中心となり、次回の開催に向け準備します。

また、芸術祭終了後、各会場に残る継続展示作品を活用した取組を実施します。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
瀬戸内国際芸術祭 2016 開催 ガイドブック作成等 屋島周辺関連事業 バス運行支援 かがわ・山なみ芸術祭開催	次回瀬戸内国際芸術祭開催準備 芸術祭作品の継続公開	次回瀬戸内国際芸術祭開催準備 芸術祭作品の継続公開 芸術祭関連事業

目標

目標項目	現況値 (H27.4)	目標値 (H30)
① 本市会場への年間来場者数	① 13,000人	① 170,000人
② 次回瀬戸内国際芸術祭の開催準備進捗率	② 100%	② 100% (H28)



瀬戸内国際芸術祭 2013

**3 - ⑩**  
【特別重点】

**高松国際ピアノコンクール事業**

文化芸術振興課

事業費(計画額)

3,530万円

概要

日本で3番目に創設された国際的なピアノコンクールとして、高松から世界レベルの音楽を発信するとともに、地域の活性化や音楽芸術の振興、国際的な文化交流の推進等を図るため、当コンクールを4年に一度開催します。

また、コンクールを開催しない期間においても、より市民に親しまれるコンクールとなるため、当コンクールの審査員・入賞者のリサイタル事業や公開レッスン、学校や地域での無料演奏会などの事業を展開し、次回開催への機運を高めます。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
高松国際ピアノコンクール推進事業の開催	高松国際ピアノコンクールの開催 関連事業 広報(庁舎懸垂幕、立看板) 審査員のリサイタルと公開レッスン等	高松国際ピアノコンクール推進事業の開催

目標

目標項目	現況値(H27.4)	目標値(H30)
ピアノコンクール入場者数	-	8,000人 (H29)

※参考 第3回高松国際ピアノコンクール入場者数(H25年度) 7,180人



第3回高松国際ピアノコンクール

**3 - ⑪ 史跡・天然記念物屋島保存・整備事業**

文化財課

事業費(計画額)

1,647万円

概要

史跡・天然記念物である屋島について、屋島活性化基本構想に基づき、今後の保存管理及び活性化に資するため、「史跡」、「天然記念物」、「名勝」の各分野において、新たな価値を発見する調査を行います。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
発掘調査 浦生地区・北嶺山上地区 レーザー測量 屋嶋城跡浦生地区	発掘調査 浦生地区・北嶺山上地区 普及パンフレット製作	発掘調査報告書刊行 基礎調査事業計画策定

目標

目標項目	現況値(H27.4)	目標値(H30)
屋島において発掘調査を実施した件数(累積)	2件	<b>6件</b>



史跡・天然記念物屋島の遠景

3-⑫ 史跡石清尾山古墳群保存・整備事業

文化財課

事業費(計画額)

1億9,266万円

概要

高松市内に存在する数少ない国指定の史跡で、積石塚古墳として全国的に知られている史跡石清尾山古墳群の歴史的文化的価値を向上させるため、調査研究及び適切な保存・整備を推進します。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
調査会議の開催及び調査整備会議の設立 稲荷山北端1号墳発掘調査・整理 稲荷山1号墳発掘調査 鶴尾神社4号墳保存対策 ボーリング等調査	調査整備会議の開催 稲荷山1号墳発掘調査・整理 稲荷山地区報告書刊行 姫塚古墳測量調査 保存活用計画作成に係る基礎調査業務 鶴尾神社4号墳保存対策 崖面補強工事基本設計 崖面補強等工事実施設計	調査整備会議の開催 北大塚古墳測量調査 姫塚古墳発掘調査 看板・安全フェンスの設置等 稲荷山地区の史跡追加指定の意見具申 鶴尾神社4号墳保存対策 崖面補強等工事

目標

目標項目	現況値(H27.4)	目標値(H30)
見学者数(累積)	250人	1,000人



稲荷山北端1号墳 北側くびれ部の積石(北西から)

3-⑬ 高松城跡整備事業

文化財課

事業費(計画額)

4億8,629万円

概要

日本の三大水城の一つであり、城下町高松の顔・シンボルとなる特徴的な城郭を、後世まで守り伝えるため、史跡高松城跡保存整備基本計画に基づき、石垣や披雲閣など各施設の保存修理や桜御門の復元を行います。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
桜御門 石垣修理 復元実施設計	桜御門復元工事 三の丸便益施設改修工事	桜御門復元工事

目標

目標項目	現況値(H27.4)	目標値(H30)
桜御門の復元進捗率	50%	<b>100%</b>

※施設整備事業は、全工程中、基本設計完了で20%、実施設計完了で30%  
その後の工事工程については事業費で進捗率を管理



桜御門古写真

**3-14**  
【特別重点】

**障がい者スポーツ推進事業（新規）**

障がい福祉課

スポーツ振興課

事業費（計画額）

816万円

概要

障がい者のスポーツ推進を図るため、本市スポーツ施設における環境整備や障がい者スポーツ大会の誘致等を通じて、障がい者のスポーツ人口の増大と競技力の向上に取り組みます。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
障がい者対応のスポーツ環境整備 中国・四国パラ陸上競技大会の開催 準備 東京パラリンピックの事前合宿誘致 スポーツ施設の情報発信 種目別競技大会開催	障がい者対応のスポーツ環境整備 中国・四国パラ陸上競技大会の開催 東京パラリンピックの事前合宿誘致 スポーツ施設の情報発信 種目別競技大会開催	継続実施

目標

目標項目	現況値（H27.4）	目標値（H30）
香川県障がい者スポーツ大会への参加人数	236人	270人



障がい者スポーツ（車いす陸上競技）

3-⑮ 屋島陸上競技場再整備事業

スポーツ振興課

事業費（計画額）

32億9,886万円

概要

市民ぐるみのスポーツ振興、スポーツを通じた健康増進や住民相互の交流等の推進を図るため、本市及び東讃地域で唯一の公認陸上競技場である屋島陸上競技場について、現施設の老朽度、施設・設備の整備状況等を踏まえて策定した基本構想、基本計画に基づき、再整備します。

また、競技場のオープンにPRするとともに、市民スポーツの振興と本市の魅力を広く発信するため、開場を記念してオープニングイベントを開催します。

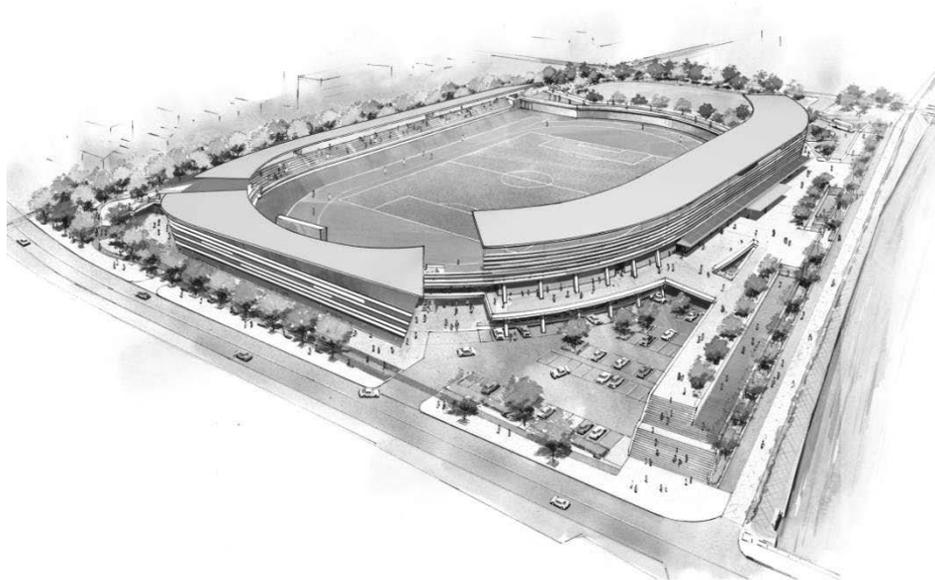
計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
建築工事 プレイベントの開催	オープニングイベントの開催	

目標

目標項目	現況値（H27.4）	目標値（H30）
屋島陸上競技場再整備進捗率（平成29年度 整備完了予定）	85%	<b>100%</b> (H29)

※施設整備事業は、全工程中、基本設計完了で20%、実施設計完了で30%  
その後の工事工程については事業費で進捗率を管理



屋島陸上競技場完成イメージ

**3-16**  
【特別重点】

**南部地域スポーツ施設（仮称）整備事業**

スポーツ振興課

事業費（計画額）

6億829万円

概要

市民スポーツの振興を図るため、合併協議に基づく、香川町、香南町のまちづくりプラン（建設計画）における重点取組事項として位置づけられている「南部地域における特色あるスポーツ施設の整備」について、市域全体のスポーツ施設のバランスと効果的な連携を念頭に整備します。

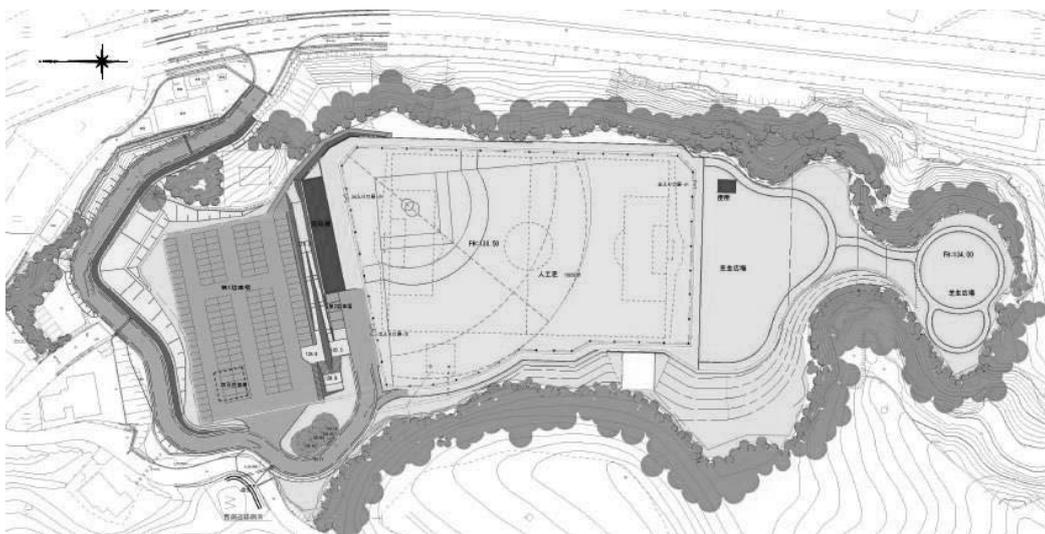
計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
建設工事	建設工事	

目標

目標項目	現況値（H27.4）	目標値（H30）
南部地域スポーツ施設（仮称）整備進捗率 （平成29年度 整備完了予定）	20%	<b>100%</b> <b>(H29)</b>

※施設整備事業は、全工程中、基本設計完了で20%、実施設計完了で30%  
その後の工事工程については事業費で進捗率を管理



南部地域スポーツ施設（仮称）整備予定図（実施設計時）

3-⑰ ヨット競技場再整備事業

スポーツ振興課

事業費（計画額）

7億9,416万円

概要

マリンスポーツを通じた市民の健康増進、利用者の利便性の向上、次代を狙うヨット競技選手の育成・強化等を図るため、老朽化した施設を再整備します。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
施設整備工事	施設整備工事	

目標

目標項目	現況値（H27.4）	目標値（H30）
ヨット競技場整備進捗率（平成29年度 整備完了予定）	20%	<b>100%</b> <b>(H29)</b>

※施設整備事業は、全工程中、基本設計完了で20%、実施設計完了で30%  
その後の工事工程については事業費で進捗率を管理



ヨット競技場完成イメージ

3 - ⑱

地域密着型トップスポーツチーム支援事業

スポーツ振興課

事業費（計画額）

5,050万円

概要

本市から全国への情報発信を始め、市民のふるさと意識の高揚や、スポーツ振興を通じた市民の健康増進等を図るため、地域密着型トップスポーツチーム（複数の都道府県にまたがって活動するリーグに所属し、地域に拠点を置くプロもしくはこれに類したスポーツチーム）を支援します。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
練習、教室の施設使用料支援 ユニフォームへの高松市ロゴマーク掲載料支援 児童生徒等観戦誘致 地域密着型スポーツ活用協議会支援 市民応援デーの開催 パブリック・ビューイング開催等支援	継続実施	継続実施

目標

目標項目	現況値（H27.4）	目標値（H30）
① 地域密着型トップスポーツチームのホームゲームでの観客数	① 129,700人	① 148,300人
② 地域密着型トップスポーツチームの市内でのスポーツ教室参加者数	② 3,500人	② 5,000人



(c) KAMATAMARE SANUKI  
カマタマレ讃岐



©香川アイスフェローズ  
香川アイスフェローズ



Photo by AELO SPORT/bj-league  
高松ファイブアローズ



写真提供 香川オリーブガイナース球団  
香川オリーブガイナース

**3-19**  
【特別重点】

**屋島活性化推進事業**

政策課

観光交流課

事業費(計画額)

8,678万円

概要

屋島活性化に向け、屋島の有する特性・価値を将来にわたり継承しつつ、市民を始め、広く屋島を訪れる人々に知ってもらうため、平成25年1月に策定した「屋島活性化基本構想」に基づく、具体的施策・事業を迅速かつ効果的に実施し、世界に誇れる本市のシンボルとなる屋島として再生を目指します。

なお、本市への観光客の誘引を促進するため、屋島山上からの眺望を最大限に活用しながら、民間が行う活動の拠点、コンベンションの会場、多様な観光客へのガイダンス施設など、観光屋島の再生の核となる多機能施設として、屋島山上拠点施設の整備を進めます。

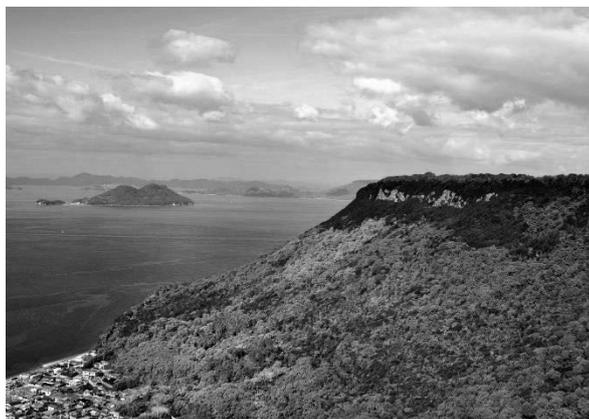
また、市民や観光客が気軽に屋島山上へ来訪できるよう、屋島ドライブウェイの無料化に取り組みます。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
魅力ある屋島再生協議会の運営 屋島関係情報ポータルサイトの運営 廃屋跡地の利活用	魅力ある屋島再生協議会の運営 屋島関係情報ポータルサイトの運営 便益施設等の整備 廃屋跡地の利活用	魅力ある屋島再生協議会運営助成 屋島関係情報ポータルサイト運営助成 便益施設等の整備 廃屋跡地の利活用
屋島山上拠点施設整備の推進 屋島ドライブウェイ無料化社会実験 屋島ドライブウェイ無料化手法検討結果を踏まえた対応	子どもたちの愛着心の醸成 情報発信の強化 屋島山上拠点施設整備の推進 屋島ドライブウェイ無料化手法検討結果を踏まえた対応	子どもたちの愛着心の醸成 情報発信の強化 屋島山上拠点施設整備の推進 屋島ドライブウェイ無料化手法検討結果を踏まえた対応

目標

目標項目	現況値(H27.4)	目標値(H30)
屋島山上入込客数	511,577人	700,000人



屋島ビューポイント・フォトコンテスト最優秀賞作品

3 - ⑳

源平屋島地域観光振興事業

観光交流課

事業費（計画額）

4, 2 3 1万円

概要

瀬戸内海国立公園有数の景勝地であり、源平合戦の史跡を有する源平屋島地域（屋島、庵治及び牟礼地区をいう。）の自然・歴史・文化・産業等の資源をいかした観光振興を図るため、源平屋島地域運営協議会が実施する源平屋島地域の活性化を推進する事業を支援します。

また、屋島山上の清掃や、山上へのシャトルバス運行支援を行うことで、屋島への観光客の受入環境を整えます。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
源平屋島地域運営協議会支援 屋島山上地区の清掃 屋島山上シャトルバス運行支援	継続実施	継続実施

目標

目標項目	現況値（H27.4）	目標値（H30）
① 屋島山上入込客数	① 511,577人	① <b>700,000人</b>
② 源平屋島地域（庵治・牟礼に限る。）入込客数	② 52,050人	② <b>103,500人</b>



むれ源平石あかりロード

**3-②**  
【特別重点】

**高松城跡（玉藻公園）をいかした観光振興事業**

観光交流課

事業費（計画額）

**5,236万円**

※総事業費（平成27年度繰越額を含む）は、6,238万円

概要

重要文化財の指定を受けた披雲閣を中心として、高松城跡（玉藻公園）の観光拠点としての知名度アップと観光客の増加を図るため、和船体験事業や「高松城鉄砲隊」による演武などを行うとともに、披雲閣や庭園のライトアップを始め、ナイト観光を充実させるイベントを行います。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
「高松城鉄砲隊」による演武 夜間ライトアップの実施 ナイト観光イベントの開催 彦根城姉妹縁組50周年記念事業実施 バーチャル高松城の実施 和船「玉藻丸」の乗船体験	「高松城鉄砲隊」による演武 夜間ライトアップの実施 ナイト観光イベントの開催 披雲閣築100周年記念事業実施 バーチャル高松城の実施 和船「玉藻丸」の乗船体験	「高松城鉄砲隊」による演武 夜間ライトアップの実施 ナイト観光イベントの開催 バーチャル高松城の実施 和船「玉藻丸」の乗船体験

目標

目標項目	現況値（H27.4）	目標値（H30）
高松城跡（玉藻公園）入園者数	194,016人	<b>209,000人</b>



和船「玉藻丸」

施策名：(341) 観光客受入環境の整備

**3-22**  
【特別重点】

**温泉をいかした塩江地域の観光振興事業**

観光交流課

事業費(計画額)

300万円

概要

温泉をいかした塩江地域の観光振興を図るため、塩江温泉郷活性化基本構想(仮称)等を策定するとともに、必要な事業の実施に取り組みます。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
塩江温泉郷活性化基本構想(仮称)策定等	塩江温泉郷活性化基本構想(仮称)に基づく事業の実施	塩江温泉郷活性化基本構想(仮称)に基づく事業の実施

目標

目標項目	現況値(H27.4)	目標値(H30)
塩江温泉郷観光入込客数	65,000人	70,000人



行基の湯

**3 - ㉓**  
【特別重点】

**海外誘客促進事業**

観光交流課

事業費(計画額)

3億9,524万円

概要

高松空港と空路で結ばれた海外各国(中国・韓国・台湾)からの旅行者の本市への集客を高めるため、関係機関と連携を図りながら、観光プロモーションを行うほか、各航空路線(高松・台北、高松・上海等)を県とともに支援します。

また、今後の旅行者増加が見込まれる東南アジアやヨーロッパについても取組を強化します。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
市場調査の実施 団体旅行の誘致 誘致スタッフの配置 高松・台北便観光客誘致支援 高松・上海便観光客誘致支援 高松・ソウル便観光客誘致支援 高松・成田便観光客誘致支援 海外キャンペーンへの出展	継続実施	継続実施

目標

目標項目	現況値(H27.4)	目標値(H30)
観光案内所利用者数(外国人)	8,977人	<b>18,000人</b>



第16回 JAPAN EXPO (フランス パリ) における観光PR

**3-24**  
【特別重点】

**国内誘客促進事業**

観光交流課

事業費(計画額)

6,960万円

概要

創造都市高松の知名度を高め、来訪者の増加を図るため、旅行者・事業者への誘致活動や、首都圏・関西圏におけるキャンペーン活動、航空会社の地域振興施策と連携した出発地等でのキャンペーン活動、また、本四3架橋の本州側の大きなサービスエリアにおける広告掲示など、国内観光客の誘致を積極的に行います。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
旅行会社等への団体旅行・修学旅行の誘致活動 出発地(首都圏、関西圏)等でのキャンペーン活動 パンフレット、ポスターによるPR 四国デスティネーションキャンペーンに向けたPR 第8回世界盆栽大会inさいたまへの出展に向けた準備	旅行会社等への団体旅行・修学旅行の誘致活動 出発地(首都圏、関西圏)等でのキャンペーン活動 パンフレット、ポスターによるPR 四国デスティネーションキャンペーンへの対応 第8回世界盆栽大会inさいたまへの出展	旅行会社等への団体旅行・修学旅行の誘致活動 出発地(首都圏、関西圏)等でのキャンペーン活動 パンフレット、ポスターによるPR

目標

目標項目	現況値(H27.4)	目標値(H30)
主要観光施設の利用者数	6,508,628人	6,557,800人



羽田空港における観光PRイベント

3-25  
【特別重点】

観光情報発信・受入態勢整備推進事業

観光交流課

事業費(計画額)

9,838万円

※総事業費(平成27年度繰越額を含む)は、1億388万円

概要

本市の魅力外国人等に積極的に周知し、観光客の増加を図るため、海外版インターネット広告「アート・シティ高松」を発信するほか、国内観光客に向け、観光ホームページ「高松旅ネット」により、観光情報をわかりやすく発信します。

また、団体旅行による観光客の誘致を積極的に推進するため、旅行会社に対してインセンティブ施策を実施するとともに、外国人観光客の受入環境の整備等により交流人口の増加を図ります。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
海外からの観光客への情報発信 観光ホームページによる情報発信 食文化を活かした観光の推進 受入態勢の整備 団体旅行の誘致促進 手ぶらでの観光サービスの提供 外国人観光客受入環境の整備 無線LAN等の環境を活用した 観光情報の発信	継続実施	継続実施

目標

目標項目	現況値(H27.4)	目標値(H30)
① 観光案内所利用者数(外国人)	① 8,977人	① 18,000人
② 海外版インターネット広告トップページアクセス件数	② 66,550件	② 133,000件



アート・シティ高松ホームページ(英語版)

施策名：（342）観光客誘致の推進

**3-26**  
【特別重点】

**MICE 振興戦略（仮称）策定事業（新規）**

政策課

事業費（計画額）

800万円

概要

本市が有するMICE開催に必要な機能の更なる充実や有機的な連携を図ることにより、高松ならではのMICE誘致を展開するため、MICE振興戦略（仮称）を策定し、戦略に基づく振興策の推進に取り組みます。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
MICE振興戦略（仮称）の策定 策定懇談会の設置及び開催	MICE振興戦略（仮称）に基づく 対応 推進協議会の設置及び開催	継続実施

目標

目標項目	現況値（H27.4）	目標値（H30）
高松エリアで開催されたコンベンション数	217件	260件



第4回日仏自治体交流会議（かがわ国際会議場）

**3-27**  
【特別重点】

**移住・交流促進事業**

政策課

事業費（計画額）

8,825万円

概要

本市への移住・交流人口の増加を図るため、県とも連携しながら、本市が持つ多種多様な地域・観光資源や都市機能等の情報の効果的な発信など、本市への移住・交流の誘引に努めます。

また、移住・交流促進戦略（仮称）を策定し、戦略に基づく促進策に取り組みます。

計画

平成28年度	平成29年度	平成30年度
移住・交流促進戦略（仮称）の策定 移住者への賃貸住宅借上料支援 移住に関するアンケート調査の実施 地域おこし協力隊による活動 香川県移住・交流推進協議会への参加 大都市圏での移住フェア参加による情報発信 パンフレットや本市ホームページ等によるPR	移住・交流促進戦略（仮称）に基づく対応 移住者への賃貸住宅借上料支援 移住に関するアンケート調査の実施 地域おこし協力隊による活動 香川県移住・交流推進協議会への参加 大都市圏での移住フェア参加による情報発信 パンフレットや本市ホームページ等によるPR	継続実施

目標

目標項目	現況値（H27.4）	目標値（H30）
1年間の転入と転出の差（社会増）	289人	<b>858人</b>



移住フェア（U・Iターン相談会）